

標題 : アムネスティ・インターナショナル日本「労働組合アクションリーフ」の  
単組への配布と活用  
発信番号 : 自治労発2024第0633号  
発信日付 : 2024年5月28日  
宛先(団体) :  
宛先 : 各県本部委員長様, 各地連議長様  
送信者(団体) : 全日本自治団体労働組合  
送信者 : 中央執行委員長 石上 千博

日頃のご奮闘に心より敬意を表します。

さて、アムネスティ・インターナショナル日本は、労働組合アクションとして自治労と連合の助成を受けてリーフレットを作成しています。

今年のテーマは「脱炭素社会の裏にある大きな犠牲～コバルト採掘による強制立ち退き～」です。化石燃料依存からの脱却、再生可能エネルギーへの移行が進められる中、再生エネルギーの安定供給に欠かせないバッテリーの生産に必要なコバルトの採掘をめぐる、さまざまな人権リスク、環境リスクが生じています。温暖化をはじめとする気候危機は、主に先進国の経済活動における膨大な化石燃料使用によって引き起こされたにも関わらず、途上国や貧困にある人々ほど大きな影響を受けています。

脱炭素社会には人権最優先の意識が不可欠であることを、コバルト世界シェア70%のコンゴ民主共和国における強制立ち退きの例を通じて、一人でも多くの組合員に知っていただけるよう、機関紙(誌)やニュースなどを活用して周知くださいますようお願いいたします。詳細は、下記をご参照ください。

## 記

### 1. リーフレットの内容

アムネスティ・インターナショナル日本の労働組合アクションリーフ(添付1)。

※リーフレットは、三つ折りです。

### 2. 各県本部への送付

5月29日(水)の週便にて、各県本部宛に送付いたします。単組数に県本部用3部を加えてお送りします。送付部数(添付2)をご確認ください。

### 3. アムネスティ・インターナショナルについて

アムネスティ・インターナショナルは、世界最大の国際人権NGOで、すべての人々の人権が守られる世界をめざし1961年に発足しました。アムネスティ日本はその日本支部として、世界で起きている人権侵害の存在を日本国内に広く伝えるとともに、日本の状況を国内外に伝えるために、1970年に設立されました。(https://www.amnesty.or.jp/)

自治労は、国際連帯カンパを活用して、アムネスティの活動を支援しています。

### 4. 問合せ先

自治労国際担当(杉崎) 電話: 03-3263-0264 E-mail: sugizaki@jichiro.gr.jp

添付ファイル :

添付2\_送付部数.xlsx

添付1\_労働組合アクションリーフ.pdf